

2007年11月26日

受益者の皆様へ

安田投信投資顧問株式会社

チャイナ・リアル・ウォッチの基準価額下落について

11月21日の中国関連株式市場が大幅に下落したことより、「チャイナ・リアル・ウォッチ」の11月22日の基準価額が前日比5%を超える値下がりとなりましたので、その状況のご報告と、本ファンドの再委託先である国泰君安アセット（アジア）の見解をご紹介します。

ファンド名	基準価額（11月22日）	前日比
チャイナ・リアル・ウォッチ	21,066円	1,239円（ 5.55%）

<背景>

21日の香港株式市場は、前日中国の温家宝首相が、景気や物価を抑制する姿勢を改めて示したことにより中国本土の追加引締め観測が高まったことや、サブプライム問題で米国景気に対する見方が弱気になる中、米連邦準備理事会(FRB)が米経済成長率の見通しを下方修正したことで、米景気後退懸念が高まり急落しました。香港市場の中国株関連の主要指数の下落率は、以下の通りとなっております。また、外国為替市場で円高が進んだことも基準価額下落の一因となりました。

	H株指数	レッドチップ指数
11月21日	5.18%	4.16%
11月22日	2.70%	2.35%
11月23日	0.84%	2.01%

（香港ドルベース、前日比）

22日も米住宅ローン危機に伴い中国経済が減速しかねないとの懸念が広がり、中国株式市場につれ安となりました。しかしその後、22日付の香港紙上で、香港の曾蔭権行政長と中国人民銀行の呉曉靈副総裁が21日に行った会談にて、中国が本土居住者による香港株への直接投資計画を「確実」に推進することで合意したと報じられました。また香港の資産家、李嘉誠氏が22日に10億香港ドル以上を株式市場に投資したことを受け、最近の下落が

*当資料に記載されているコメント、投資環境見通しについては、過去の実績等に基づいたもので、将来の投資成果等を保証するものではありません。*当資料はご参考資料として、安田投信投資顧問が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、販売会社を通じてあらかじめまたは同時に投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等（目論見書補完書面を含む。）をお渡ししますので、内容を十分にご確認のうえ、ご自身でご判断ください。*当資料は、信頼できる情報源から得た情報に基づき構成されていますが、内容の正確性あるいは、完全性について明示、黙示に関らずこれを表明あるいは保証するものではありません。

行き過ぎとの見方が広がったことから23日には相場は回復傾向になりました。

<今後の見通し>

米国の今後の景気を左右しうるサブプライム問題がグローバル経済に与える影響は、その全体像を掌握するには時期早尚というコンセンサスも固まりつつあり、香港株式市場はその影響を受け短期的に不安定な動きが続く可能性はあるかと思われます。しかし今回の反落を含んでも、本年の年初来の上昇率（11月21日現在、香港ドルベース）はH株指数が同+54.67%、レッドチップ指数が同+71.80%となっており、利益確定の為の売りが出やすい環境にありました。依然として中国経済のファンダメンタルズには大きな変化はなく、今後も堅調に推移するとみており、中長期的には株式市場も経済成長と同様に堅調に推移するものと思われます。

以上

*当資料に記載されているコメント、投資環境見通しについては、過去の実績等に基づいたもので、将来の投資成果等を保証するものではありません。*当資料はご参考資料として、安田投信投資顧問が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、販売会社を通じてあらかじめまたは同時に投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等（目論見書補完書面を含む。）をお渡ししますので、内容を十分にご確認のうえ、ご自身でご判断ください。*当資料は、信頼できる情報源から得た情報に基づき構成されていますが、内容の正確性あるいは、完全性について明示、黙示に関らずこれを表明あるいは保証するものではありません。